

<今月の表紙>



奥州ころもがわ祭り

奥州ころもがわ祭りが8月19日、衣川の古戸商店街特設会場で開催され、恒例の「お石さま行列」「弁慶綱引き大会」「流し踊りパレード」など、多彩な催しで来場者を楽しませました。写真は地元の子供会による「子供みこし」の一こまです。大きな掛け声で町内を元気に練り歩きました。【関連記事：125】

CONTENTS

- | | | | |
|----|--|----|-------------------------------|
| 2 | キラリ輝く奥州人 | 16 | いいとこ、知っとこ おうしゅう |
| 3 | 【特集】災害から生命を守るために | 17 | まなびの里 |
| 8 | 市国民健康保険にご加入中の皆さんへ 国民健康保険証更新のお知らせ
市景観計画の地区区分を一部変更します | 18 | もっと安心 ずっとおうしゅう
はい、こちら総合相談室 |
| 9 | 10月は「スポレク奥州2018」 | 19 | おうしゅう ござんぼ
姉妹都市 掛川だより |
| 10 | 街diary | 20 | インフォメーション |
| 12 | 奥州の夏まつり グラフ | 24 | 奥州遺産 |
| 14 | ILC希望のひかり | | |
| 15 | せいかつ百科
市長コラム「おうしゅう羅針盤」 | | |

【特集】

災害から生命を守るために

―ハザードマップの活用を―



平成30年6月30日、本市を大雨が襲いました。まさに「いつでもどこで起こるか分からない災害」でした。この大雨を振り返り、災害への備えについて考えてみましょう。
■問い合わせ先 本庁危機管理課防災保安係（内線223）

キラリ輝く
奥州人

59

若生 和江 さん (55歳)
=江刺梁川=

伝えていきたい
ふるさとの味



江刺梁川のやまんば工房。その厨房で郷土食「やまんば汁」を作る若生和江さん。郷土の味や技を伝承する達人として、平成19年に県が認定した「食の匠」だ。ワラビやキノコといった山の幸がたくさん入っていることからやまんば汁と名付けられた。中に入っているのはご飯の団子で、残ったご飯からでも作れる工夫された料理だ。12年、梁川に産直施設が完成し、食品加工などを勉強していた和江さん。地産地消に向けた活動が各地で盛んに行

団子のもちもち感を味わうため、食べる直前にゆでる

われ、それぞれの地域の人が、ちが地元の食材や郷土食を、自信を持ってPRする姿に感銘を受けたと当時を振り返る。ご飯をあまり食べない人が多くなり、残念さを感じていたある日、「これだ！」と思いついたのがやまんば汁。新郷土食として歩み始める。「ここには素晴らしい自然、そして食材がたくさんある。郷土食を食べることで郷土愛を育み、ふるさとの素晴らしさを伝えていきたい」と思いを語る。やまんば汁から温かいふるさとの香りが伝わってきた。



わかう・かずえ◎昭和37年、江刺米里生まれ。県「食の匠」、健康・食育マスター、県環境アドバイザーとして幅広く活動中。夫、子ども1人の3人家族。山菜採りなど山歩きが趣味